

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 木下直之

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

近くても遠い場所へ — 文化資源の発見

2017.10.16

木下直之

今夜の話題

はじめに 私の2冊の本から

- 1 災害のあとに起こること
- 2 民俗文化財という考え方
- 3 「山・鉾・屋台行事」の「ユネスコ無形文化遺産」登録
- 4 神田祭の現在

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しまし
た

書籍の表紙

木下 直之『股間若衆—男の裸は芸術
か—』新潮社2012年

[http://www.shinchosha.co.jp/book/3321
31/](http://www.shinchosha.co.jp/book/332131/)

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しまし
た

書籍の表紙

木下直之『近くても遠い場所——一八五
〇年から二〇〇〇年のニッポンへ』晶文
社2016年

<http://www.shobunsha.co.jp/?p=4061>

東京大学某所にて



博士の肖像展
1998
東京大学総合研究博物館



木下 直之 編『博士の肖像』東京大学出版会1998年
<http://www.utp.or.jp/book/b299270.html>

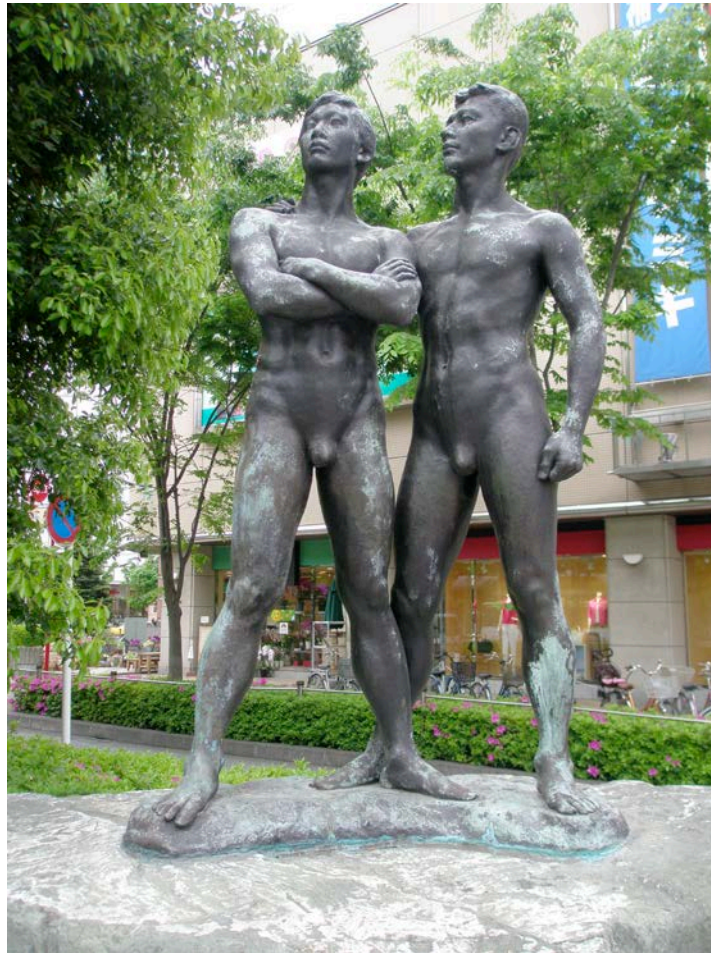
東京大学某所にて



赤羽駅前



川崎普照
「未来への讃歌」
1993



曖昧模っ糊り

拙著『股間若衆』より



白井雨山
「箭調べ」

1908

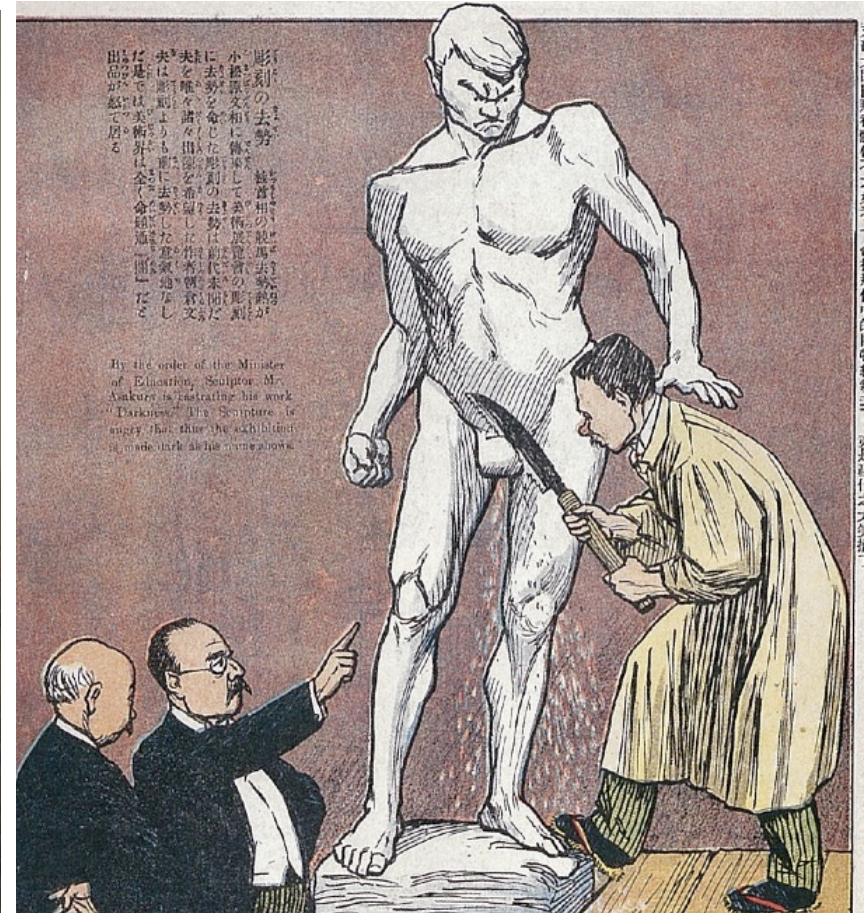
東京国立近代美術館蔵



朝倉文夫
「闇」

1908

『東京パック』(有楽社)1908.11.1



ニュースの誕生展と小野秀雄コレクション

1999

東京大学総合研究博物館

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しまし
た

書籍の表紙
小野秀雄『新聞研究五十年』毎日新聞
社1971年



木下 直之 編 吉見 俊哉 編『ニュースの誕生：かわら版と新聞錦絵の情報世界』
東京大学出版会1999年
<http://www.utp.or.jp/book/b299271.html>

安政大地震(1855)と鯨絵の流行

「地震火災あくばらひ」

「じしん百万遍」

小野秀雄コレクション(東京大学情報学環蔵)



大鯨と要石
『神田明神祭礼画卷』
神田神社蔵



大鯰と要石
2013
神田神社蔵



回向院

『江戸名所図会』七卷 長谷川雪旦画



諸宗山無縁寺回向院

両国



震災記念堂 → 東京都慰霊堂

両国



広島平和記念公園



原爆供養塔



原爆ドーム



広島平和記念資料館



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館



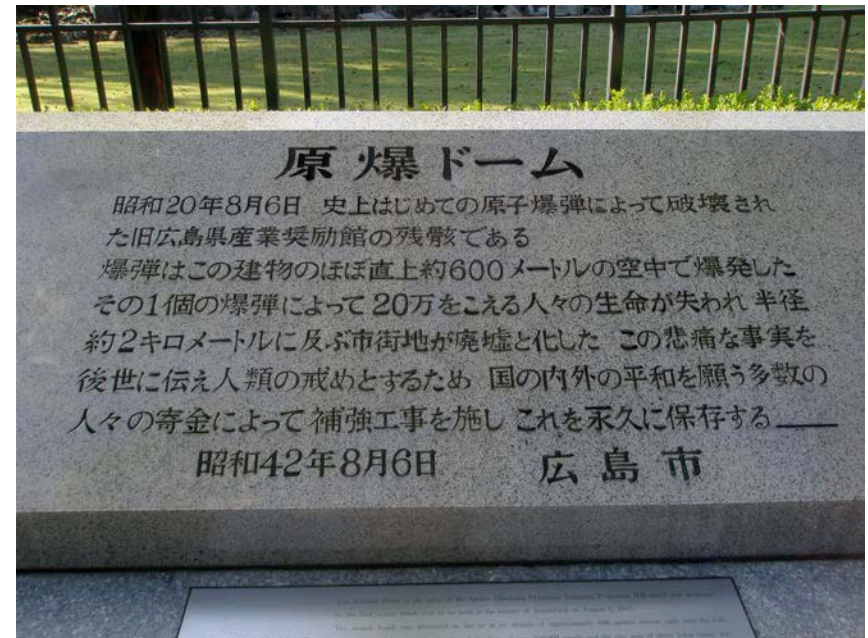
平和祈念・死没者追悼空間



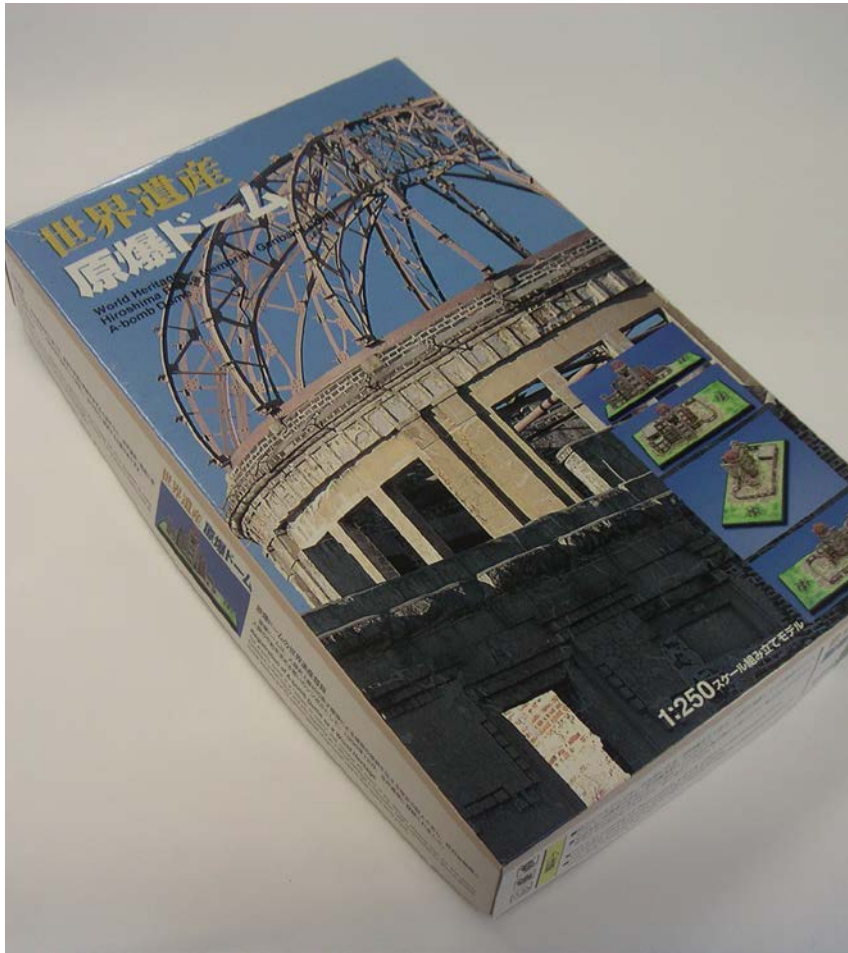
世界文化遺産登録



史跡指定



原爆ドームを建設してきた歴史



南三陸町旧防災対策庁舎



原爆ドーム



南三陸町旧防災対策庁舎に設けられた祭壇



文化財保護法

1950

(法令提供データシステム)

(この法律の目的)

第一条 この法律は、文化財を**保存**し、且つ、その**活用**を図り、もつて国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。

(文化財の定義)

第二条 この法律で「文化財」とは、次に掲げるものをいう。

一 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの(これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。)並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料(以下「**有形文化財**」という。)

二 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの(以下「**無形文化財**」という。)

三 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの(以下「**民俗文化財**」という。)

四 貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いもの、庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの並びに動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。))及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。))で我が国にとって学術上価値の高いもの(以下「**記念物**」という。)

五 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの(以下「**文化的景観**」という。)

六 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの(以下「**伝統的建造物群**」という。)

文化財保護法

第5章 民俗文化財

第七十八条 文部科学大臣は、有形の民俗文化財のうち特に重要なものを重要有形民俗文化財に、無形の民俗文化財のうち特に重要なものを**重要無形民俗文化財**に**指定**することができる。

第七十九条 重要有形民俗文化財又は重要無形民俗文化財が重要有形民俗文化財又は重要無形民俗文化財としての**価値を失った場合**その他特殊の事由があるときは、文部科学大臣は、重要有形民俗文化財又は重要無形民俗文化財の**指定を解除**することができる。

第八十七条 文化庁長官は、重要無形民俗文化財の**保存**のため必要があると認めるときは、重要無形民俗文化財について自ら**記録の作成**その他その保存のため適当な措置を執ることができるものとし、国は、地方公共団体その他その保存に当たることを適当と認める者に対し、その保存に要する経費の一部を補助することができる。

第八十八条 文化庁長官は、重要無形民俗文化財の記録の所有者に対し、その**記録の公開**を勧告することができる。

第八十九条 文化庁長官は、地方公共団体その他重要無形民俗文化財の保存に当たることを適当と認める者に対し、その保存のため必要な**助言又は勧告**をすることができる。

第九十条 文部科学大臣は、重要有形民俗文化財以外の有形の民俗文化財(第百八十二条第二項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。)のうち、その文化財としての価値にかんがみ保存及び活用のための措置が特に必要とされるものを文化財登録原簿に**登録**することができる。

博多祇園山笠行事

川越氷川祭の山車行事

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」



ユネスコ無形文化遺産保護条約

第11回政府間委員会(2016.11.30)への提案内容

文化庁報道発表(2016.12.1)

6.提案要旨

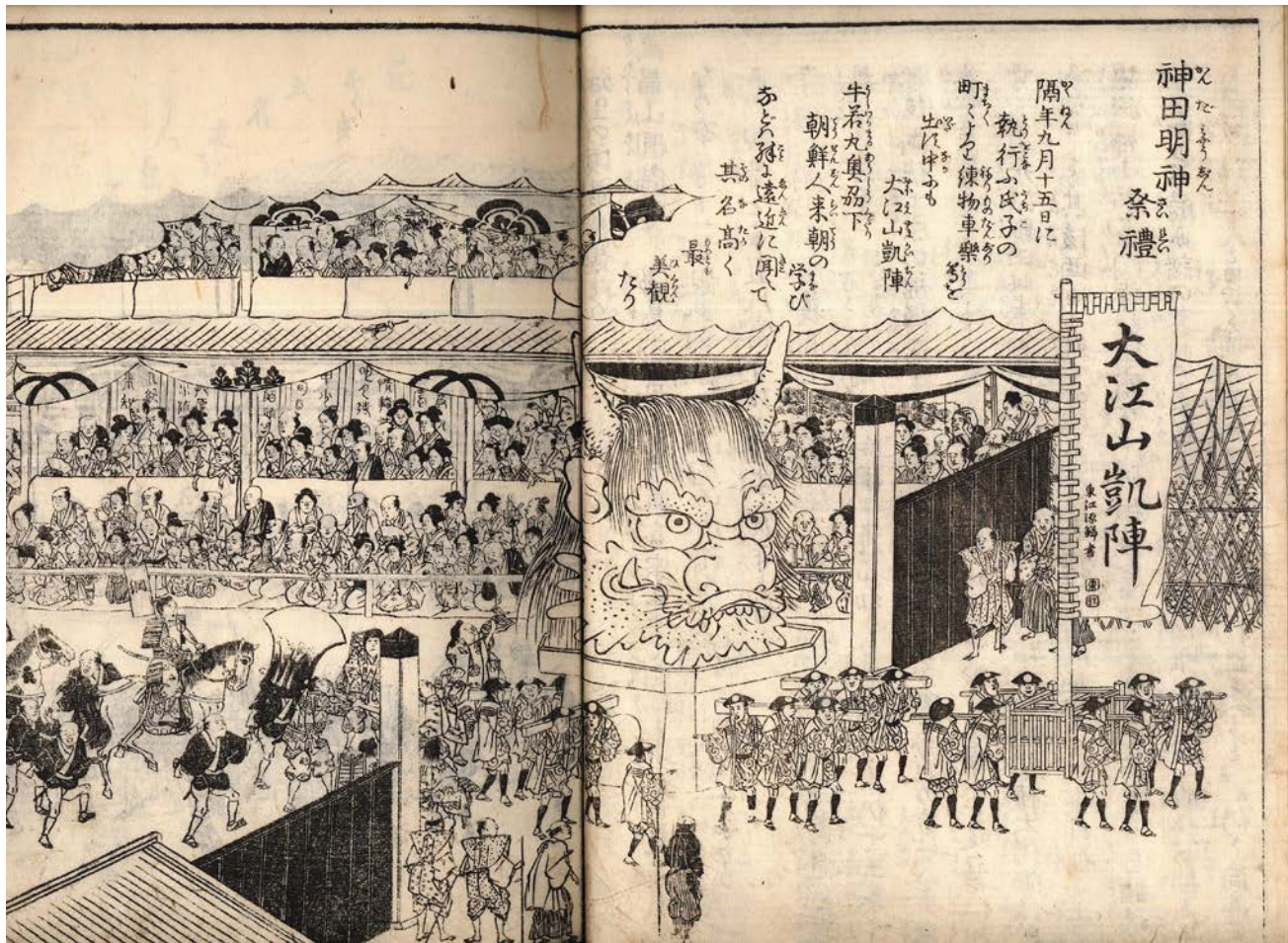
- 「山・鉾・屋台行事」は、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う、各地域の文化の粋をこらした華やかな飾り付けを特徴とする「山・鉾・屋台」の巡行を中心とした祭礼行事である。
- 祭に迎える神霊の依り代であり、迎えた神をにぎやかし慰撫する造形物である「山・鉾・屋台」は、木工・漆・染物といった伝統的な工芸技術により何世紀にもわたり維持され、地域の自然環境を損なわない材料の利用等の工夫や努力によって持続可能な方法で幾世にもわたり継承されてきた。
- 「山・鉾・屋台」の巡行のほか、祭礼に当たり披露される芸能や口承に向けて、地域の人々は年間を通じて準備や練習に取り組んでおり、「山・鉾・屋台行事」は、各地域において世代を超えた多くの人々の間の対話と交流を促進し、コミュニティを結びつける重要な役割を果たしている。
- 「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への記載は、コミュニティが参画した持続可能な方法での無形文化遺産の保護・継承の事例として、国際社会における無形文化遺産の保護の取組に大きく貢献するものである。

川越市役所前の山車勢揃い
「川越氷川祭の山車行事」 → 神事ではなく行事
「神なき祭り」



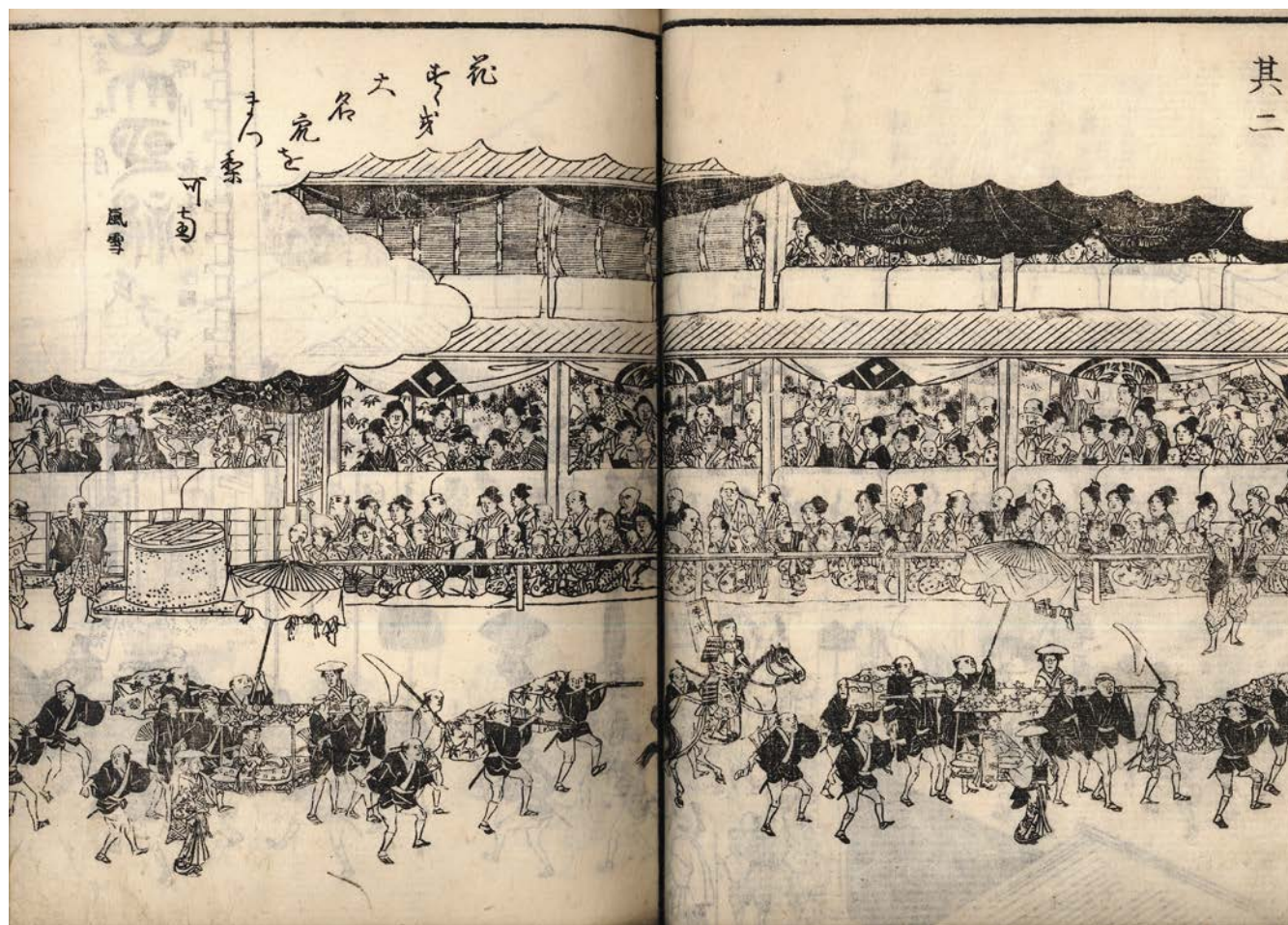
神田明神祭礼

『江戸名所図会』五巻 長谷川雪旦画



神田明神祭礼

『江戸名所図会』五卷 長谷川雪旦画



神田明神祭礼

『江戸名所図会』五卷 長谷川雪旦画



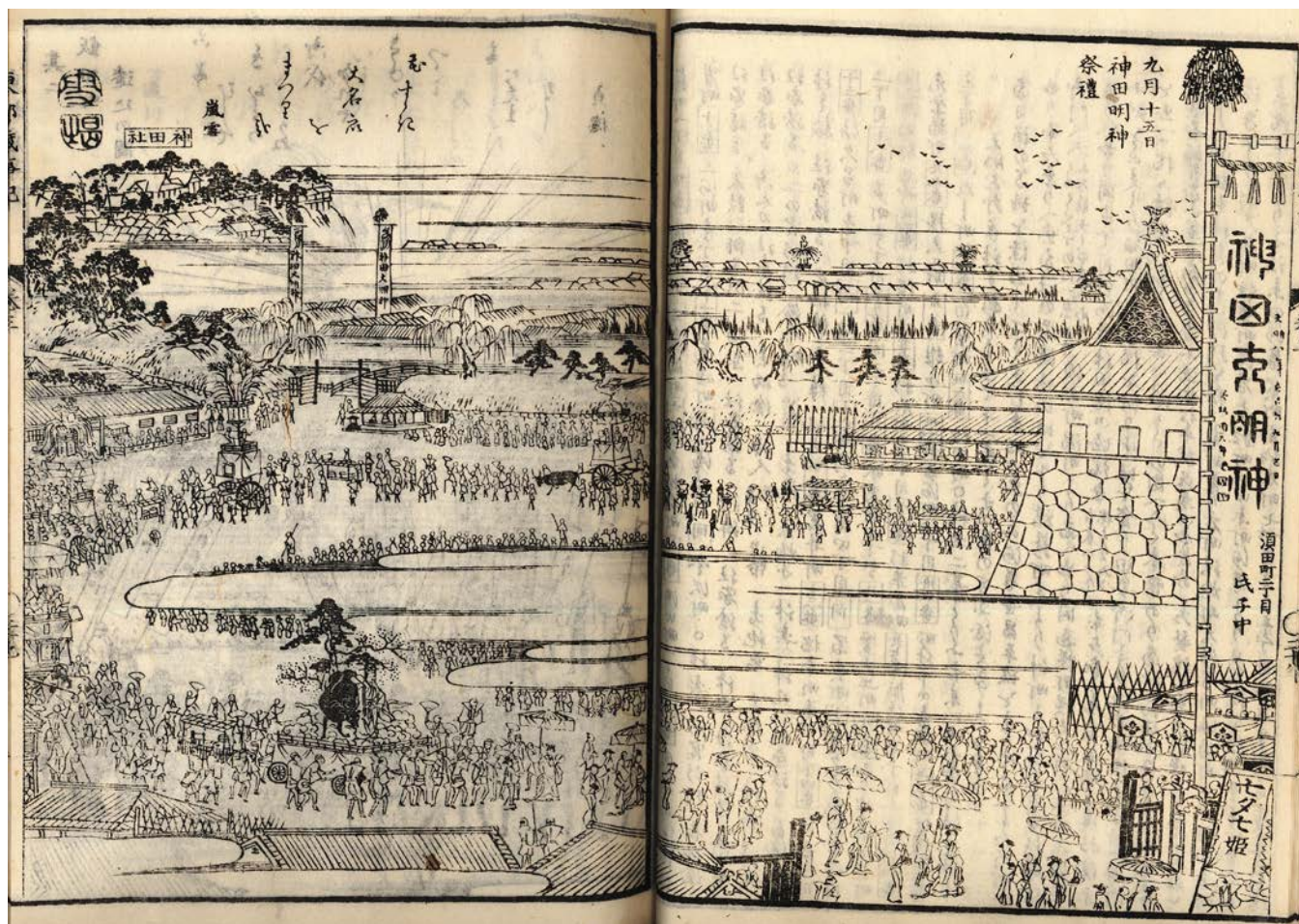
神田明神祭礼

『江戸名所図会』五卷 長谷川雪旦画



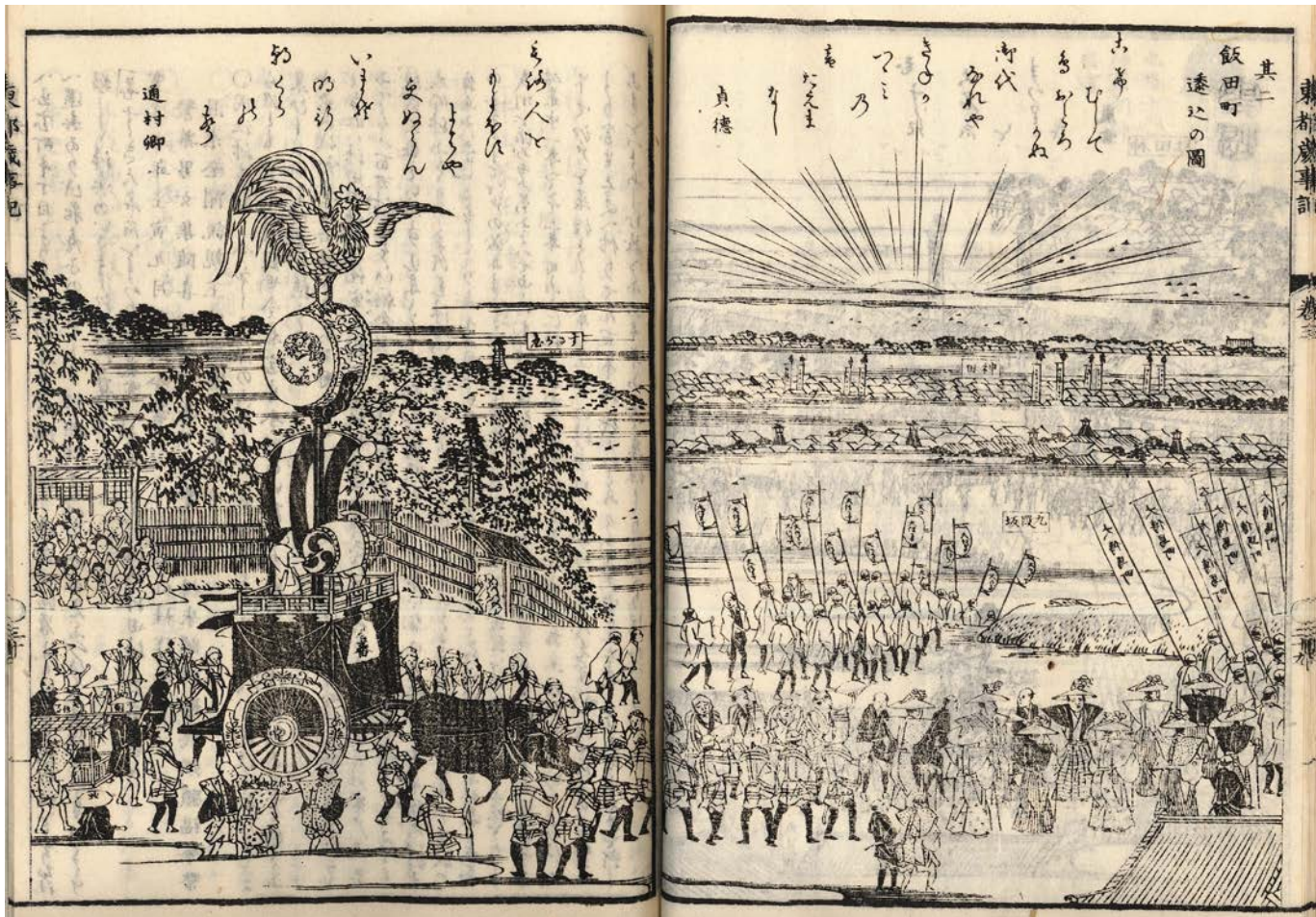
神田明神祭礼

『東都歳事記』



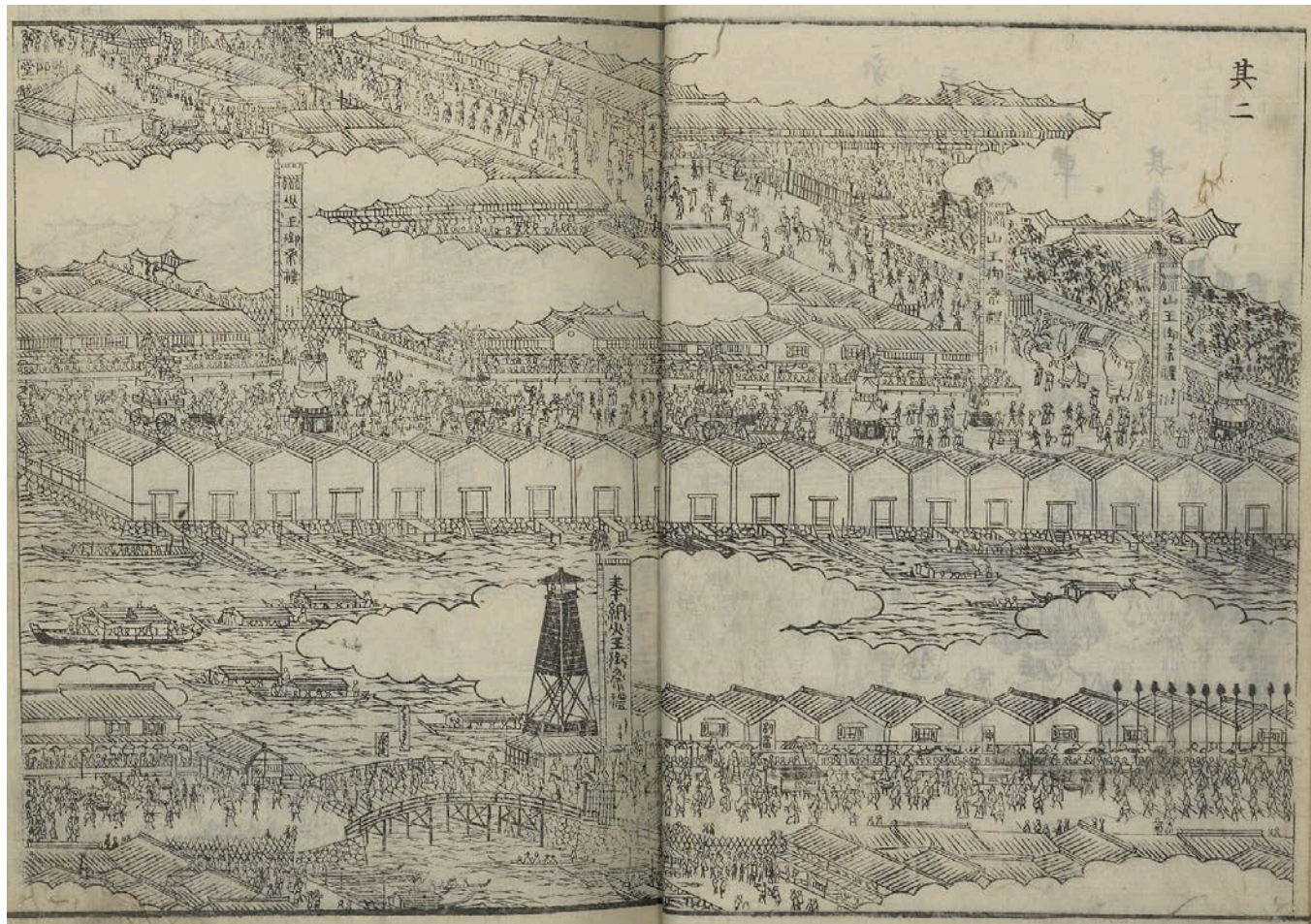
神田明神祭礼

『東都歳事記』



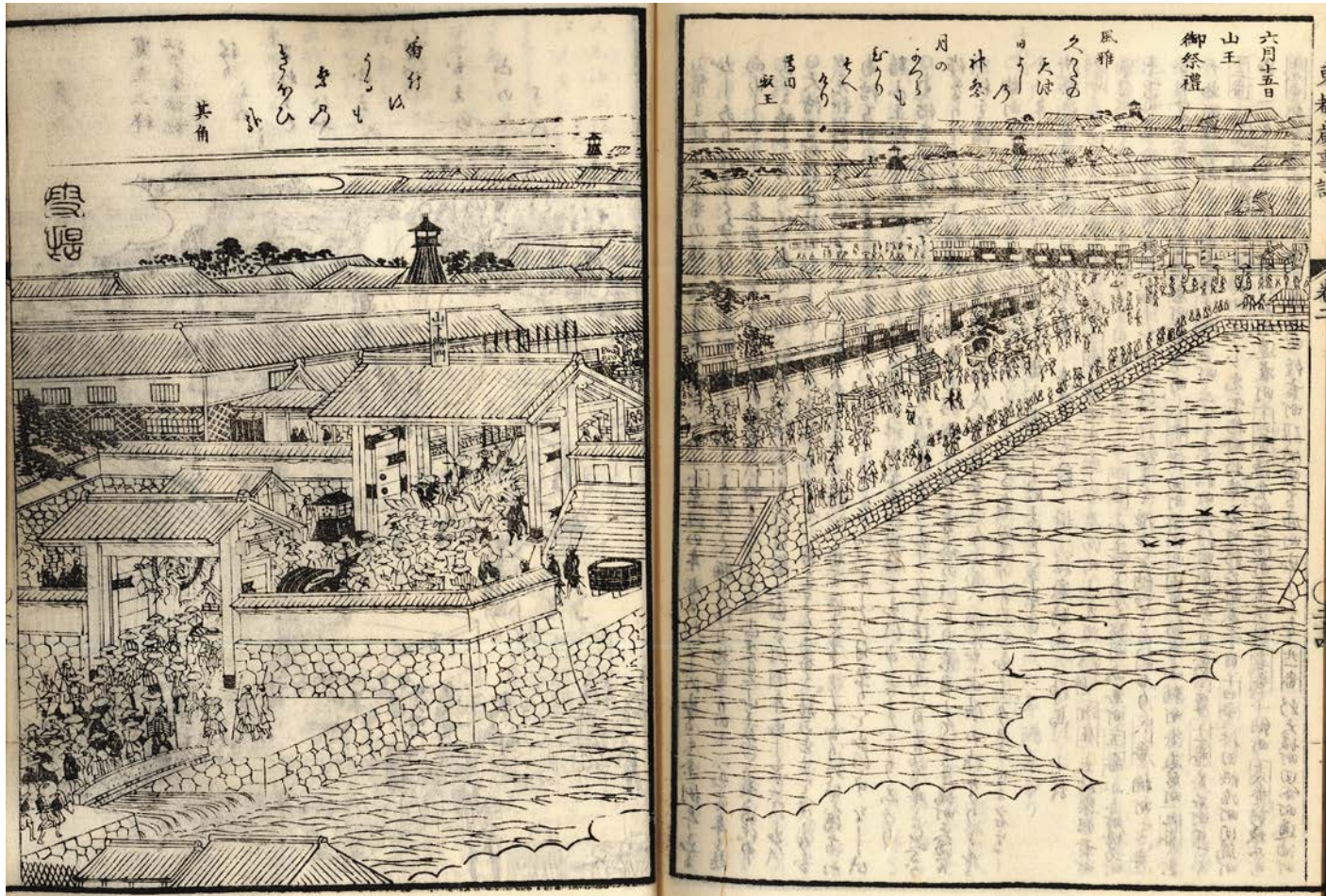
山王祭

『江戸名所図会』三卷 長谷川雪旦画

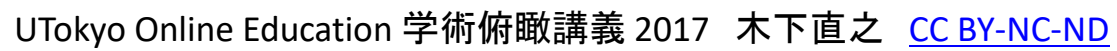


山王御祭礼

『東都歳事記』

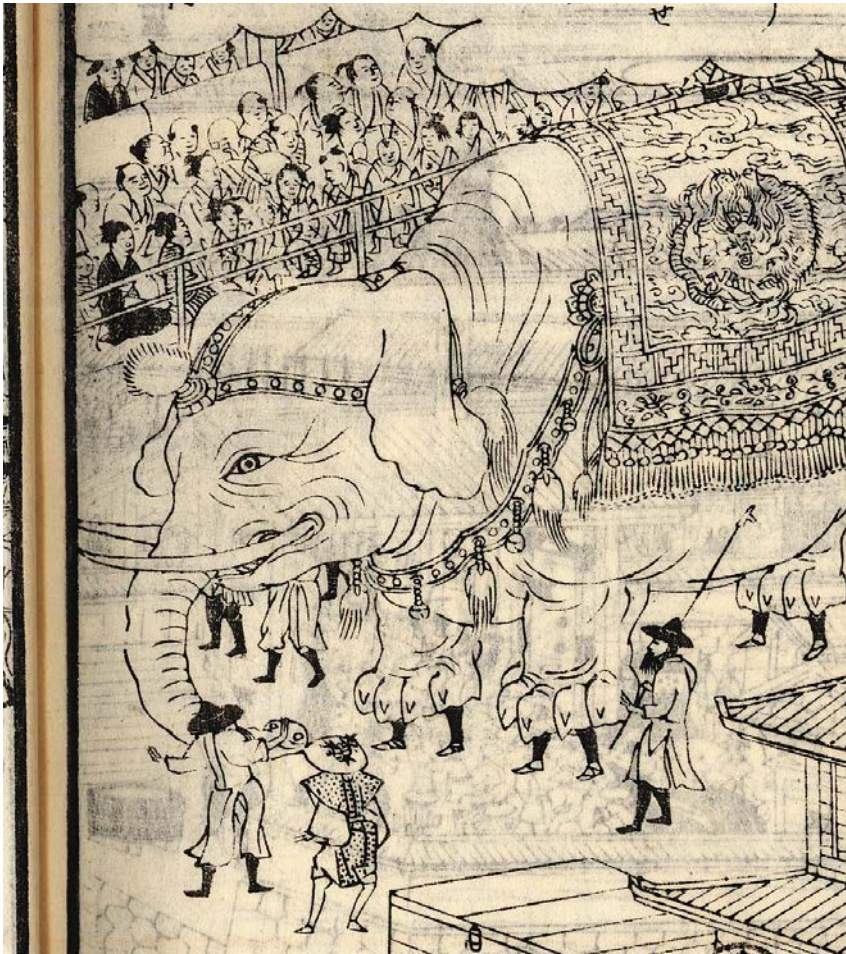


『東都歳事記』



山王御祭礼

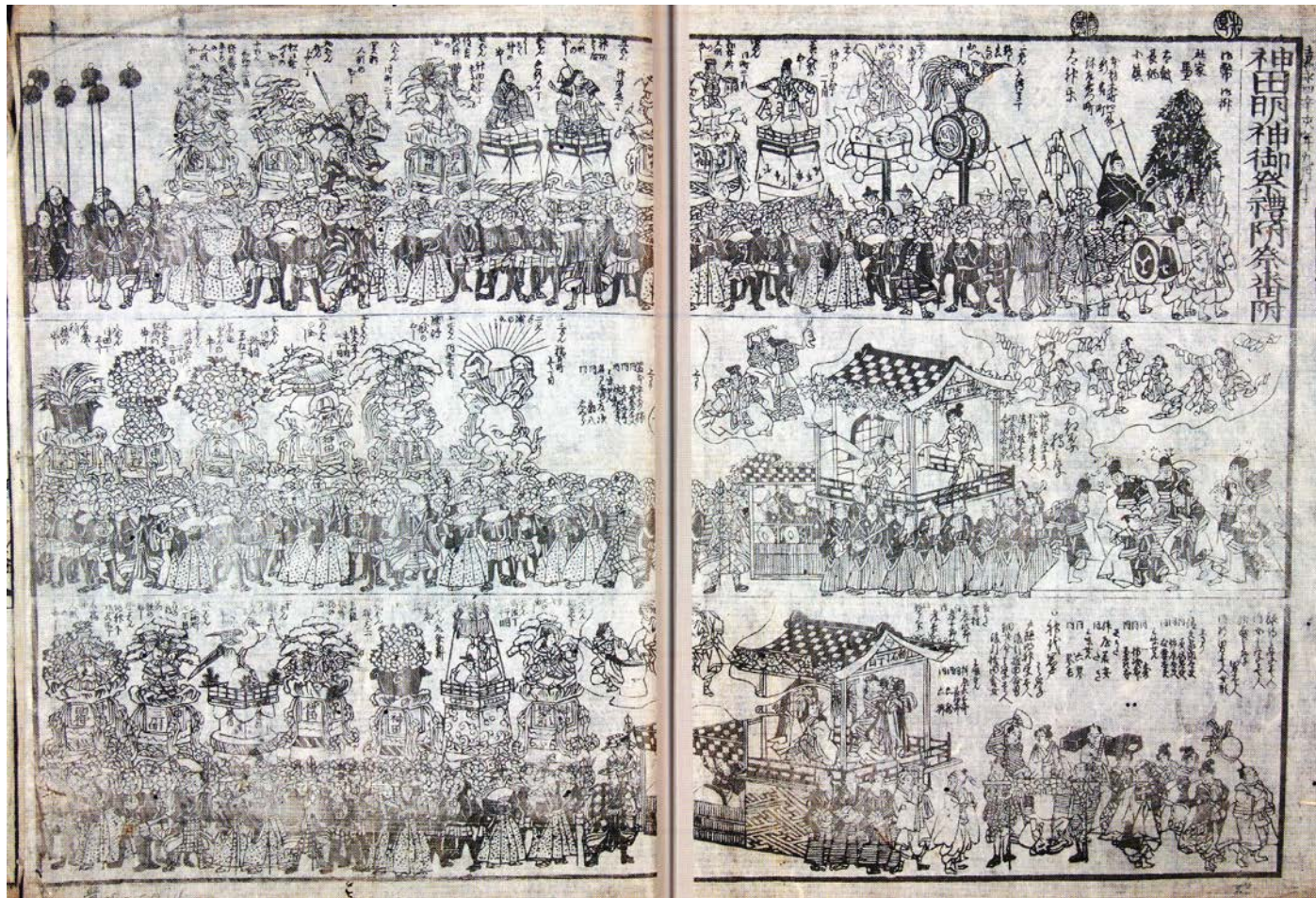
『東都歳事記』



「神田明神御祭礼附祭番付」

嘉永4年(1851)

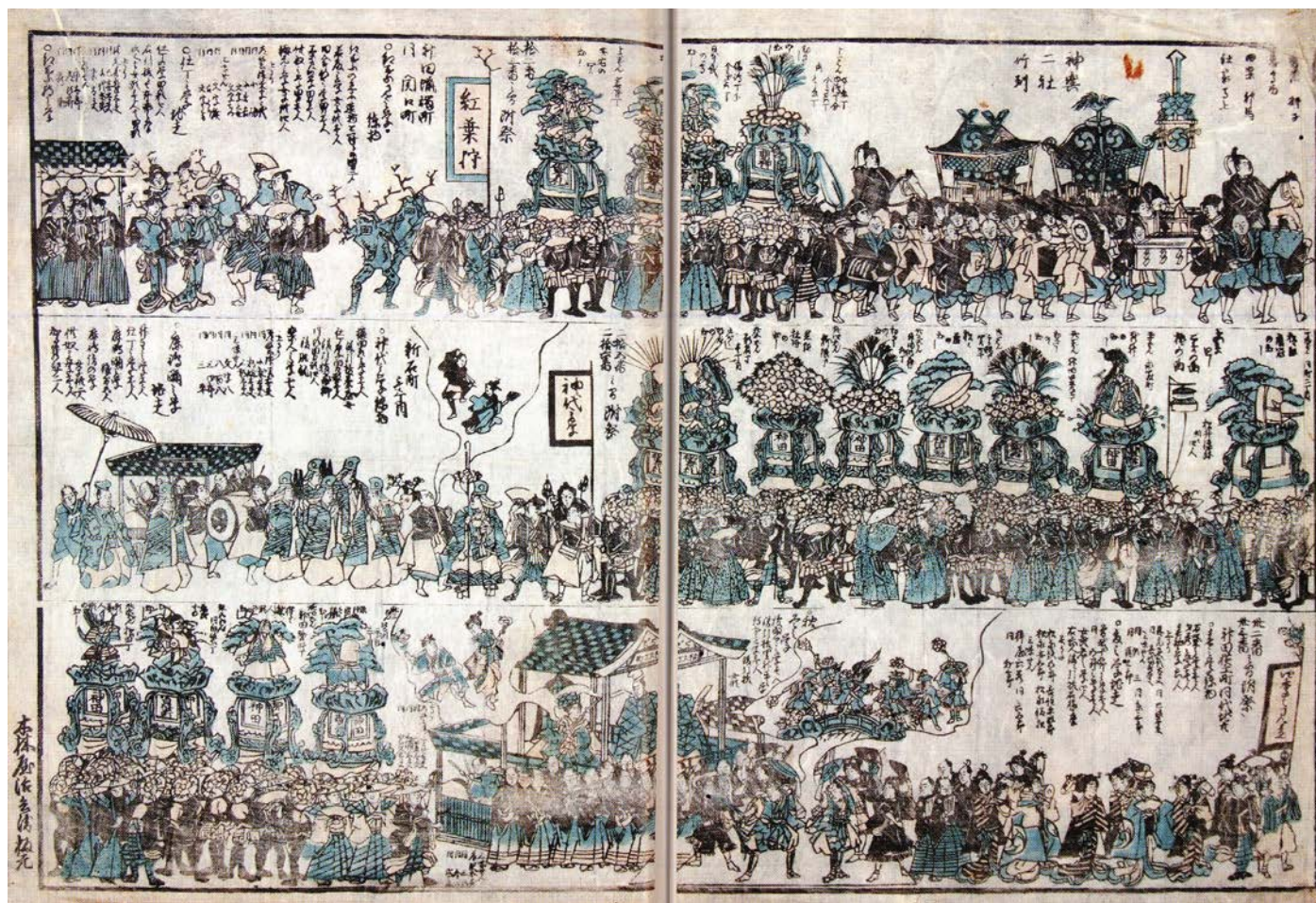
神田神社蔵



「神田明神御祭礼附祭番付」

嘉永4年(1851)

神田神社蔵



横須賀三熊野神社大祭

静岡県掛川市



川越氷川祭の山車



横須賀三熊野神社大祭の禰里



義経蝦夷渡
『神田明神祭礼図巻』
神田神社蔵



義経蝦夷渡
『神田明神祭礼図巻』
神田神社蔵



義経蝦夷渡
『神田明神祭礼図巻』
神田神社蔵



神田祭
明治17年(1884)9月16日
神田神社蔵



山車巡行路
明治17年(1884)
神田神社作成

日本橋

万世橋



神田祭附祭復元プロジェクト

2007



2007



2009



2009



2009



2013



